

保護者の皆様へ

国府中学校長 中村 茂

学校評価に関わる保護者アンケート（1学期）の結果について

1学期末にご協力いただきました標記のアンケートの集計結果をお知らせいたします。設問は16項目ありましたが、そのうち「学校や教師に対して」のものが8項目、「我が子に対して」のものが8項目でした。結果を比較するために、昨年度同時期のデータも載せました。こうした保護者アンケートや生徒アンケートなどを参考資料にして学校評価の自己評価を8月に作成し、学校のホームページに公開していますのでご覧ください。

また、9月30日にこの中間報告に関する学校関係者評価委員会を開催しました。今後の改善に向けてご意見をいただきましたので、ご指摘を受けた点については校内で検討した上、改善していきたいと考えています。

- * 集計結果の見方（回収人数 1年：60名 2年：69名 3年：77名 合計206名）
・回答項目の平均算出方法は、以下のように配点して全回答者の平均値を求めたもの。

よくあてはまる4点	まあまああてはまる3点	あまりあてはまらない2点	あてはまらない1点
-----------	-------------	--------------	-----------

項目No	内 容	2011.7	2010.7
学校 や 教 師 に 対 し て	1 配布された「教育の指針」や「学力向上プラン」などで学校の教育方針が理解できた	3.0	3.0
	2 学校は学校の様子や生徒の活動をホームページや学年だよりなどでよく知らせている	3.0	3.0
	3 授業公開や学校行事、PTA行事などで学校や子どもの様子を見る機会が十分にあった	3.0	2.9
	4 学校は子どものことについての不安や相談に適切に応じてくれている	2.8	2.7
	5 学校は交通安全や危険回避等の指導を適切に行っている	3.0	2.8
	6 先生方は子どもの良い所や努力している所を適切に評価してくれていると思う	2.9	2.9
	7 学校は、家庭での効果的な勉強方法を教えてくれている	2.5	2.5
	8 先生方はいじめや生徒指導上の問題に対してきちんと対応していると思う	2.8	2.7
	平均値	2.9	2.8

項目NO	内 容	2011.7	2010.7
我 が 子 に 対 し て	9 子どもは宿題以外にも家庭で毎日学習する習慣がついてきている	2.5	2.6
	10 子どもは、学校行事や学年行事などに意欲的に取り組んでいると思う	3.2	3.2
	11 子どもは社会のルールや学校の規則を守っていると思う	3.3	3.1
	12 子どもは部活動や地域クラブの活動に意欲的に参加し、心身の成長に役立っている	3.5	3.4
	13 子どもは朝食をきちんと食べて登校している	3.7	3.6
	14 家庭では、子どもと将来の目標や生き方、進路のことなどについて話すことがある	3.1	3.0
	15 家庭の会話の中で、その時々ニュースなどについても触れるようにしている	3.0	2.9
	16 家庭の中で、お手伝いなど子どもが担う役割を与えている	2.6	2.6
	平均値	3.1	3.0

《集計結果からの分析及び説明》

● 学校や教師に対して

* 項目 1, 2, 3について

- ・「教育の指針」は4月の参観日に配布し、PTA総会の折にそれを使いながら今年度の本校の教育方針等をお話しました。欠席の方には後日生徒を通して配布させていただきました。
- ・学校理解のための積極的な情報公開（学校の様子や行事、生徒の活動など）については、学年だよりはもちろん、月予定や年間行事予定の定期的な更新、校長便りや教頭徒然草でのトピックスの更新などホームページの充実に努めています。
- ・「学力向上プラン」は県下すべての学校が策定しているもので、ご家庭の協力が必要な事柄も多数含まれておりますので、ご協力いただくために「保護者版」として、5月全保護者宛にお配りしました。この「学力向上プラン」の中で、目指す生徒像への数値目標を「学力向上プラン達成のための目安」として、以下の4点を挙げてありますが、中間評価の段階では、1項目達成することができました。全国学力調査のアンケート結果を見ると、正答率の高い生徒は、「普段、家庭学習を1時間以上している」「家で計画を立てて勉強している」と答えています。2学期以降学校では、家庭学習の課題を工夫するなど、その内容を充実させ、保護者の皆様とも連携して、目標値60%に向け、家庭学習の習慣化に努めていきたいと考えています。是非ご協力ください。

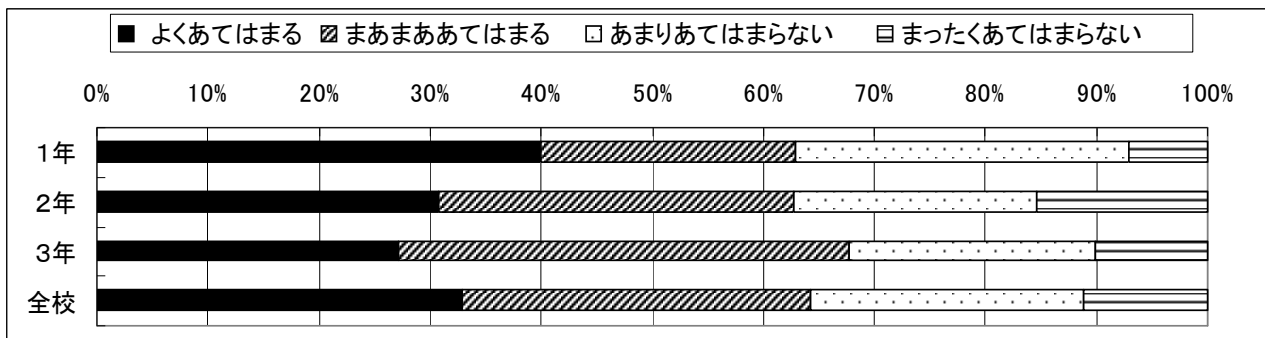
【数値目標を示した項目】		* ()内は (2011.7, 2010.7) の数値です
◎は目標値達成	○はもう少しで目標値達成	△は目標値達成まで努力が必要
○自分の思いや考えをきちんと言葉にして相手に伝えられる生徒	(77%, 75%)	【目標値 80%】
◎普段の生活で、学校生活で習ったことを活用している生徒	(67%, 55%)	【目標値 60%】
○自ら学ぼうとする生徒	(77%, 75%)	【目標値 80%】
△平日の家庭学習時間が1時間以上である生徒	(49%, 48%)	【目標値 60%】

(参考) 目標値の設定は昨年度の達成状況を見ながら、さらに向上を目指して設定した数値です。

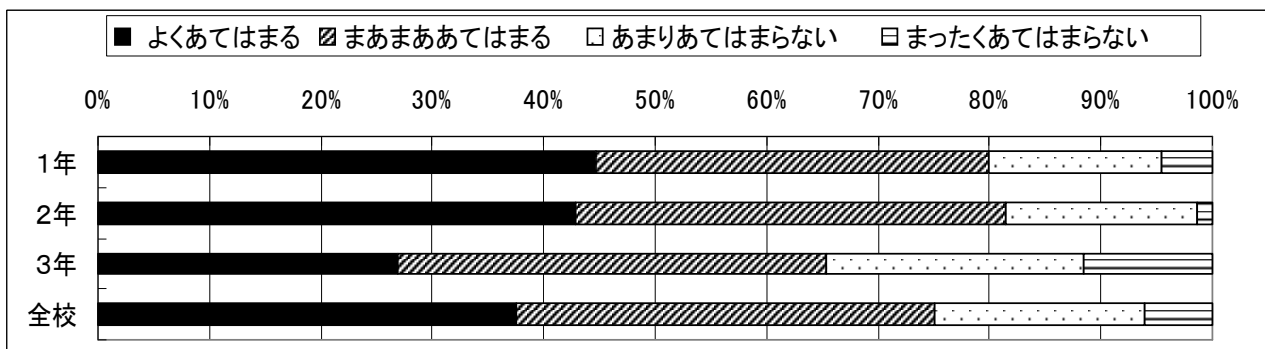
* 項目 4, 5について

- ・4, 5の項目は昨年度から見ると、数値が上がっています。特に項目4については、生徒アンケートでも尋ねています。

2010. 7月 【自分には悩みや心配事がある時、相談できる人がいる】



2011. 7月

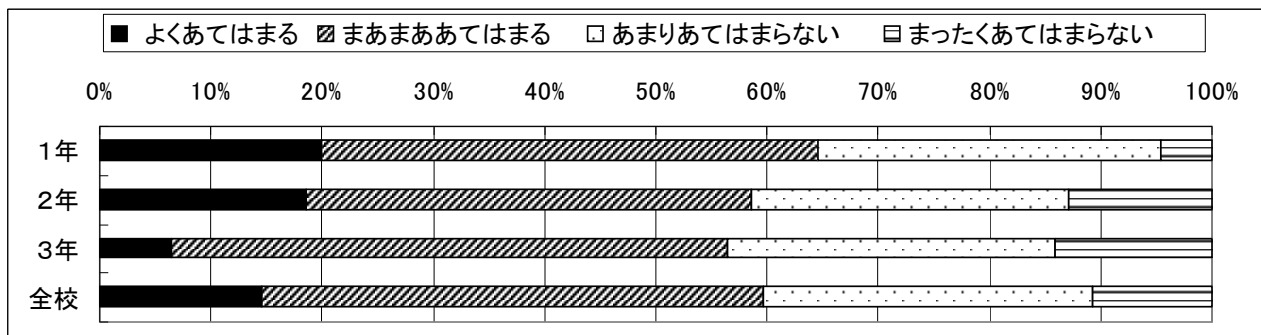


近年、生徒の社会性は低下してきており、対人関係を上手く作れない生徒が増えてきています。グラフからも読み取れるように昨年度よりも数値は高くなっています。これまでと同様に、教職員間の連携、家庭との連携を図り、さらなる信頼関係を作りながら、学校と家庭が同じ歩調で指導できるようにしたいと思います。そのためにも、定期的なアンケート調査や個人面談を通して、早期発見・早期対応に努めます。そして、生徒、保護者が相談しやすい環境を学校全体で作っていきます。

*** 項目 6 について**

この項目については生徒にも同様なアンケートをとっています。

2011. 7月【先生方は生徒の良いところや努力しているところを適切に評価してくれていると思う】



全校生徒の平均値で見ると(今年度2.6, 昨年度2.7)で、保護者の見方(2.9, 2.9)よりもまだ低い数値になっています。授業の中で、あるいは学級・学年の中で、委員会活動の中で、部活動の中で、など様々な場面でのことが考えられますが、全教職員が、もっと自分のいいところや頑張っているところを見て欲しい、認めて欲しいという生徒たちの内面の声に耳を傾けて、きちんと応えてやらなければならないと思っています。

長所を生かすことは生徒一人一人の「やる気・意欲」につながり、精神的に安定した学校生活につながります。これからも「活力ある学校・我が子を通わせたいと思える学校にするために」教職員と保護者の皆さまと共に手を取り合い、共に歩んでいければと思っています。ご協力よろしくお願ひします。

*** 項目 7 について**

自主学習ノートを活用し、その日の授業の復習や振り返りを行い効果を上げています。どの学年も毎日提出できない生徒は若干いますが、ほぼ全員が提出しています。学習ノートの点検は、毎日各担任や副担任が行っています。効果的に使っているノートや努力の必要なノートにはコメントを記入し、フィードバックと指導を行っています。また、3年生は高校受験をひかえており、自主学習ノートのほかに【整理と研究】や【入試問題集】という教材を使い、家庭学習を進めています。間違った問題を自主学習ノートで繰り返しやっている生徒もいます。

自主学習ノートの効果的な使い方も含め、「平日の家庭学習時間が1時間以上である生徒60%」を目標に、今後も継続的に取り組んでいきます。

*** 項目 8 について**

学校は生徒が安心して学べる場所であり、保護者もまた安心して通わせることができる場所であるべき場所です。「いじめ等」については定期的なアンケート調査や個人面談、生活ノートを通して早期発見・早期対応に努めています。

また、学力向上の面で「心の教育」は不可欠です。「思いやり」「寛容」「協力」等を主題とした道徳教育を通して、いじめの未然防止にも努めています。この項目は、昨年度に比べて0.1ポイント上がりましたが、生徒指導部を中心として引き続き対応していきたいと思っています。

一方で生徒たちには、学校生活の様子をよく見つけ、自分たちが直面している問題(いじめ、環境問題など)の改善に取り組ませながら、主体性を高める生徒会活動の推進も図っていきます。

● 我が子に対して

保護者の皆さんにはお子さんについてどうかということをお聞きしました。学校では、生徒アンケートとして子どもたち自身にも尋ねています。その比較です。(今回の分のみ)

題	内 容	保護者	生 徒
9	子どもは宿題以外にも家庭で毎日学習する習慣がついている	2. 5	2. 5
10	子どもは学校行事や学年・学級行事などに意欲的に取り組んでいると思う	3. 2	2. 9
11	子どもは社会のルールや学校の規則をよく守っていると思う	3. 3	3. 4
12	子どもは部活動や地域クラブの活動に意欲的に参加し、心身の成長に役立っている	3. 5	3. 3
13	子どもは朝食をきちんと食べて登校している	3. 7	3. 7
14	家庭では、子どもと将来の目標や生き方、進路のことなどについて話すことがある	3. 1	2. 7
15	家族の会話の中で、その時々ニュースなどについても触れるようにしている	3. 0	2. 9
16	家族の中で、お手伝いなど子どもが担う役割を与えている	2. 6	

斜体の数値は昨年度より高くなったことを表しています。特に、保護者の数値が8項目中、5項目も昨年度より上回っています。その他の項目はほぼ昨年度と同じでした。

* 項目9について

基礎基本の定着は繰り返しの学習で身につくものです。そして、それは毎日の家庭学習で補っていくものです。家庭学習に毎日取り組めていない生徒には、家庭での取り組みを毎日「どの時間帯に、どのくらい、どの場所で」という約束を家庭内で行うことを生徒にも保護者にも推奨していきたく考えています。特に、地域スポーツに所属している生徒（1年12/69, 2年16/71, 3年18/81）は、「下校から活動前までの間、家庭でどう過ごすか」がポイントになるかと思われます。「自分もやればできる」という前向きな感覚を生徒一人一人に持たせることで、1, 2年生50%以上、3年生80%以上を目標値に取り組んでいきます。

* 項目10について

今年度の生徒会の大テーマ「挑む国中生」を目指して、係活動や生徒会の各専門委員会等が生徒主体の取り組みになるように、職員間で活動の見直しを行い、共通理解を図ってきました。

教師が準備してやらせる活動ではなく、生徒が必要を感じて考え、生徒の手で意欲的に取り組めるように生徒たちの活動を見守ってきました。その結果少しずつですが、生徒たちに変容が見られるようになってきました。今後も、様々な活動を通して、互いに学び合い、認め合い、高め合う「質の高い集団づくり」を目指していきたくと思います。そして、生徒たちに成就感や達成感を持たせることで、学校の活性化につなげていきます。

* 項目11について

生徒一人一人が社会の変化に対応でき、主体的・自律的な個人として自立するために、社会のルールや学校の規則を遵守することは大事なことです。本校では平成19年度よりこの調査を開始して以来、年々数値が高くなってきています。今後もこれまでと同様、学校教育全般を通して、生徒の道徳的な心情・判断力・実践力を高めていきます。

* 項目14について

親子で若干の食い違いが見られるようです。全国学力調査のアンケートの結果を見ると、将来の夢や目標を持っている子どもたちの正答率が、そうでない群の子どもたちに比べて高いという相関関係が出ています。夢や目標が意欲につながり、現在自分のしていることへの意味づけが理解できれば、勉強にも頑張れるということなのではないでしょうか。そういう会話の機会が家庭で増えるといいですね。

細かいところまで十分書ききれませんでしたが、出てきた結果については真摯に受け止めて改善できるように努力していきます。これからもどうぞご協力をよろしく願いいたします。